

分類項目	主な資料名	概要
木材組合等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金銭出入明細帳 松阪板材木商組合(昭和3年) [資料番号4・7]</li> <li>・ 松阪木材商工組合員(名簿)(昭和10～11年) [3・19・5]</li> <li>・ 協定値段表 松阪木材商業組合(昭和14年) [1・38]</li> <li>・ 松阪木材配給有限会社定款(昭和17年) [1・23]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治22年「三重県板商共進組合」設立</li> <li>・ 同39年に「松阪板材木商組合」と改組</li> <li>・ 昭和10年「松阪木材商工組合」となる。</li> <li>・ 同14年には「松阪木材商業組合」設立</li> <li>・ 同16年「木材統制法」により、三重県木材(株)松阪支社となる。</li> <li>・ 第2次大戦中に木材配給会社も組織される。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松阪地区木材協同組合員名簿 [1・34]</li> <li>・ 同複写(昭和48・52年) [1・32、34]</li> <li>・ 組合員の事業融資規約 [1・31]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和24年に組織された松阪地区木材協同組合の『松阪地区木材界の歩み』編さん当時の状況がわかる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業界の新しい樹林 松阪木材団地(昭和44年) [4・24]</li> <li>・ 団地運営診断報告書 一松阪材木協同組合一(昭和45年) [1・17]</li> <li>・ 組合のしおり(昭和47年) [4・20]</li> <li>・ 定款 [4・21]</li> <li>・ 木材団地十年のあゆみ(昭和51年) [4・23]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和40年4月松阪木材団地協同組合設立</li> <li>・ 同41年度松阪市上川町に約13万㎡の敷地を確保して造成する。</li> <li>・ 同44年度組合員の工場が完成し、多くの企業が移転して共同事業も行う。</li> </ul>
伊勢木材株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権利証綴(大正8年～昭和12年) [4・30]</li> <li>・ 書類綴(昭和5年度原料棚卸表、昭和14年工場設備一部変更許可申請書等)(昭和6年～19年) [4・28]</li> <li>・ 工場関係重要書類綴(昭和21年～39年) [4・29]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯南郡宮前村(現松阪市飯高町)に大正9年3月創設された木材会社で、第2次大戦中には三重県木材株式会社、戦後には竹中工務店三重出張所などからの委託契約も請けて経営を続けた。</li> </ul>
牧戸商店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大宝恵(おぼえ)(明治21年) [8・1]</li> <li>・ 口仕込積算表(明治23年～) [2・9]</li> <li>・ (大福帳)(材木等販売通い)(明治40年～) [3・13]</li> <li>・ 川俣製材工場創立日誌(大正2年) [4・4]</li> <li>・ 職工勘定明細帳(大正3年) [1・1]</li> <li>・ 材料買入明細帳(大正3年～5年) [1・2]</li> <li>・ 他府県売上元帳 第1号(大正3年度) [1・7]</li> <li>・ 北勢売上元帳(大正3年) [6]</li> <li>・ 南勢売上元帳(大正3年) [6・6]</li> <li>・ 薪木皮送券等(大正4年～5年) [2・10・3]</li> <li>・ 名古屋住宅建設現金出納帳(大正10年) [7・24]</li> <li>・ 大口港松阪駅出荷控帳(大正13年～昭和2年) [3・10]</li> <li>・ 名古屋住宅家賃領収帳 第2号(昭和8年) [9・15]</li> <li>・ 名古屋住宅貸家総勘定決算帳(昭和9年) [9・16]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 附属図書館に移管された関係資料の中で、牧戸商店に関わるものが最も多い。特に木材輸送の「送券」などは膨大である。</li> <li>・ 牧戸商店は天保10年頃から松阪新座町で材木商を営業していたようであるが、明治21年以降の資料が残されている。</li> <li>・ 大正2年には、商店とは別に櫛田川の上流の川俣村に水力製材所を創立した。</li> <li>・ 松阪の大口港から北勢や名古屋に多くの材木を販売し、名古屋には貸家を建築して経営していたこともわかる。</li> </ul>